

厚生文教常任委員会報告

○一般会計等補正予算

Q 今年度は、コロナ感染の影響で健診を躊躇して受けない方もあったと思うが、このような方に対する助成の延長は考えているのか。

A 病院においても、コロナ対策を十分にしているので健診をして頂くよう指導は行った。健診を受けられなかった方への助成の延長は考えていない。

Q 国民健康保険特別会計の中で、保険給付費が2億5000万円ほど減額しているが理由は何か。

A コロナ感染対策でインフルエンザ等の感染症の受診が激減したこと、病院の受診控え及び入院が減少したことにより医療費が減額となったと思われる。

Q 出産一時金が増額となっているが、対象者が増えたのか。

A 今後の出産の見込みで増額

している。

Q 高齢者の健康対策はどう考えているのか。

A 高齢になってからでは遅いので、早めに自分の健康データの動向を見ていくことが重要である。また、高齢者は「やせ」の問題があり、個人にあった食事・運動指導が必要であると思っている。



新しくなった中部衛生センター

Q 健康ポイント事業は、いつまで続けるのか。

A 当面3年以上は続ける。その後評価したい。

Q 保健・福祉センターの指定管理者の選定理由は。

A 指定管理者の指定の手続きに関する条例では、公募等となっている。事前に社会福祉協議会より申請が出されており、今までの実績もあり指定管理者として適切である。

Q 長期停電に対応するマンホールポンプ用の発電機の購入は今後どう考えているのか。

A 購入した場合、大型であるため、ユニック等のトラック輸送が必要となるため、リースで対応したいと考えている。

Q 上下水道経営戦略は総務省の指導によるものだが、町の総合計画との関連等との位置づけはどうなっているのか。

A 公営企業は数年に一度程度、随時経営戦略の策定を進め



広川の下水を処理 矢部川浄化センター

るよう要請されている。

Q 小学校では、夏場になると電力不足になると聞くが、今回の特別教室の空調設備の整備や、今後のGIGAスクール構想もあるが、電力は大丈夫なのか。

A 電力関係については調査し対処したい。

※写真は現地調査の様子